

2027 年度

履修生募集要項

(選抜方法1 科目履修選抜)



大阪公立大学
博士課程教育リーディングプログラム
「システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラム」

目 次

I	プログラムの概要	1
1.	本学位プログラムの目的	1
2.	養成したい人物像	1
3.	授業科目の履修	1
4.	リーディング・カリキュラムとダブルディグリー・カリキュラム	1
5.	プログラムの特色	3
II	履修生選抜の概要	4
1.	アドミッションポリシー	4
2.	選抜方法の概略	4
3.	募集人員	5
4.	出願資格	5
5.	出願書類	5
6.	出願書類受付	6
7.	選考方法	6
8.	合格発表	6
9.	プログラム履修に関する各種手続および説明会	6
10.	プログラム履修開始時期、履修資格	6
11.	問い合わせ先	6
	【別表1】 UNM における MSPM、MSCBA 標準履修表（2026 年度）	7

I プログラムの概要

1. 本学位プログラムの目的

産業が競争力を高め、イノベーションにより持続型社会を実現するために、グローバルリーダーシップを発揮できる博士研究人材が強く求められており、中でも特定分野にとらわれることなく、社会科学的視点から見いだされるニーズをも包括できる学際的、分野横断的戦略を構築できる能力の重要性がますます高まっています。本リーディング大学院プログラムでは複数の分野を広く俯瞰する学際発想力と、分野内の階層を深く統合する階層融合力を併せ持って、新しい価値創造(イノベーション)につながる研究戦略を構築できる「システム発想型学際科学リーダー」の養成を目指します。

2. 養成したい人物像

本プログラムでは、以下に示す能力を身につけた人材の養成をめざします。

1. 専門分野をリードできる確固とした学術的基礎力
2. 特定の専門分野に留まることなく多様な学問領域を見渡せる俯瞰力
3. 学際的かつ階層融合的に研究戦略を構築するデザイン力
4. 基礎的研究を産業的イノベーションへ結びつける発想力と実行力
5. 目的達成に向けて多様な人材を組織し牽引する統率力と指導力
6. 研究開発の戦略を管理、遂行するマネジメント力
7. 自らの発想を世界に根付かせる国際発信力

3. 授業科目の履修

本学位プログラムでは、「養成したい人物像」に掲げる能力等を身につけ、産業界を牽引するグローバルリーダーを育成するため、5年一貫制の博士課程教育を行います。

選考に合格した学生は、所属専攻のリーディングプログラムコースにおいて、専攻での授業科目と本学位プログラムの教育課程の授業科目を並行して履修し、単位を修得することにより、「養成したい人物像」に掲げる能力等を順次身につけていきます。

4. リーディング・カリキュラムとダブルディグリー・カリキュラム

本学位プログラム履修にあたって、リーディング・カリキュラムもしくはダブルディグリー・カリキュラムの履修が可能です。リーディング・カリキュラムは、標準履修課程表に示す本プログラムの標準科目の履修を含みます。ダブルディグリー・カリキュラムは、標準科目に加えて、米国ニューメキシコ大学（UNM）が開講する指定の科目（別表1を参照）を履修、単位取得することにより、大阪公立大学での所属研究科における修士号、博士号に加えて、UNMの修士号（Masters of science in project management（MSPM）または Masters of science in cybersecurity and business analytic（MSCBA））を取得するものです。

博士課程教育リーディング大学院プログラム
リーディング・カリキュラム 標準履修課程表

2026 年 11 月現在

科目区分		授業科目名	単位数 ○数字 は必修	配当 年次	履修を指定する単 位数等
リテラシー科目		科学リテラシー	②	1-2	4 単位 以上
		国際環境学特論	2	1-2	
		課題設定型演習	2	1-2	
		イノベーション創出基礎講座	②	1-2	
インターディシプリ ナリー科目		SiMS 特別研究（研究室ローテーション）	②	3-5	2 単位
		学際科学コミュニケーション力演習	2	1-2	以上
アイディエーション 科目		戦略的システム思考力演習 1	②	1-2	4 単位 以上
		戦略的システム思考力演習 2	②	1-2	
		国際アイディエーション演習	2	3-5	
グローバル科目		グローバルコミュニケーション演習	2	1-2	2 単位
		グローバルリーダー演習（海外留学）	②	3-5	以上
アントレ プレナー シップ科 目	国際連携 科目	UNM 特別講義 A（隔年開講）	3	1-2	(※)印の 8 科目の 内から 2 科目 (2 単位) を含む 4 単位 以上
		UNM 特別講義 B（隔年開講）	3	1-2	
		コーポレート・ファイナンス論研究	2	1-2	
		コーポレート・ファイナンス論研究（UNM 発展演習）	1	1-2	
	応用 カリキュラム	(※)スタートアップ&ビジネス戦略事例研究	1	3-5	
		(※)事業化コンサルティング演習	1	3-5	
		(※)知的財産戦略演習	1	3-5	
		(※)アイデア発想力養成演習	1	3-5	
		(※)マネジメント&マーケティング演習	1	3-5	
		(※)Marketing and Management for Innovative Products/Services	1	3-5	
		(※)ベンチャービジネス&アントレプレナーシップ基礎演習	1	3-5	
		(※)リーダーシップ&チームマネジメント演習	1	3-5	
	実践 カリキュラム	ビジネス企画実践演習	2	3-5	
		企業インターンシップ実践演習	2	3-5	
		企業連携研究リーダー実践演習	2	3-5	
修了要件単位数合計			16 単位以上 (必修12 単位を含む)		

5. プログラムの特色

(1) 優れたサポートシステム

1) 企業幹部経験者による個別メンター制度

企業幹部経験者による個別メンタリング制度により、プログラム履修、自主研究計画策定、研究室ローテーション、海外留学等の包括的サポートを受けることができます。

2) 企業インターンシップならびにキャリアパス支援の制度

多くの博士研究者を産業界に送り出した実績のある高度人材育成推進センターから企業インターンシップ先の選定や個別のキャリアパス設計などに関する支援を受けることができます。

3) 自主研究費、教育活動費の支援制度

独創的な教育研究活動を行うため、自らマネジメント可能な研究費(異分野の研究課題への取り組み、海外の大学等で行われる授業、国際会議への出席などの教育研究活動に必要な経費)について、予算の範囲内で支援されます。

4) 海外研究留学サポート

産業界をグローバルに牽引する高度研究者に求められる様々な素養とそれを実践応用する能力の体得を目的に、3ヶ月間の海外留学の機会が与えられます。

(2) 学際的発想を身につけるための5年一貫制のカリキュラム

- ・ 学際的発想力を獲得するための専用カリキュラムと研究室ローテーションによって醸成される俯瞰力と学際的・階層融合的研究力
- ・ アイディエーション科目とグローバル科目によって養成されるシステム発想型課題設定力、デザイン力、牽引力、マネジメント力、国際発信力
- ・アントレプレナーシップ科目によって融合的に醸成されるシステム発想型課題設定力、マネジメント力、ならびにビジネス展開力
- ・異分野融合自主共同研究や産業界出身メンターの指導で醸成される研究マネジメント力、実行力、ビジネスセンス、キャリアデザイン力

(3) 博士後期課程学生向け経済的支援プログラムへの推薦制度

本プログラムの履修生は、博士前期課程2年(博士課程教育リーディングプログラム学修年次2年)で「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に応募する際に、本プログラムより推薦を受けることができます。

Ⅱ 履修生選抜の概要

1. アドミッションポリシー

近代の産業は、学術等の各分野における発見を個々に深化させることで発展を遂げてきた。しかし近年、このような分野ごとの思考や枠組みでは決して成し得ない新たな価値創造を核とする産業が急速に台頭している。すなわち、特定の分野における様々な階層を個別に理解し、階層縦断的な知の融合によって価値の創造に至る階層融合的発想のみならず、異分野をも取り込んだ分野横断的な知の融合によって既存の枠組みからは生じ得ない新たな次元の価値を創出するという発想の変革が重要になっている。

このような変革の中で、国際競争力を有しかつ持続型社会を支える産業を構築するには、特定の分野にとらわれることなく、社会科学的視点から見いだされるニーズをも包括できる学際的、分野横断的戦略を想起できる能力が求められる。

以上に鑑み、本リーディング大学院プログラムでは、複数の分野を広く俯瞰する学際発想力と、分野内の階層を深く統合する階層融合力併せ持って、新しい価値創造(イノベーション)につながる研究戦略を想起できる「システム発想型学際科学リーダー」の養成を目指し、次のような事柄に対して高い目的意識を有する学生を求めます。

- ・ 自身の専攻研究において高い専門知識と優れた研究能力を修得する意欲を有する。
- ・ 自己の専門分野以外にも関心を持ち、学際的視点に立つことの重要性を理解できる。
- ・ 高度な学術的研究成果を産業の開拓に結び付ける企業マインドを志向する。
- ・ グローバルな環境下で学際研究に積極的に取り組む意欲がある。
- ・ リーダーシップを発揮し自らの研究を推進する意欲がある。
- ・ 専門分野にとらわれることなく、自らの力でコースワークと研究計画をデザインする気概と意欲を有している。

詳細は、本プログラムホームページ(<https://www.omu.ac.jp/las/sims/>)をご参照ください。

2. 選抜方法の概略

リーディング大学院プログラム履修生は、次の二つの方法で選抜します。

選抜方法1 科目履修選抜（本要項に記載の選抜方法）

博士前期課程入学初年度に、戦略的システム思考力演習2(大学院共通教育科目、後期開講)への取り組み状況を評価し、選抜します。

選抜方法2 試験(小論文、面接等)選抜

志望理由書、小論文、面接、口頭試問を課します。(選抜方法等の詳細は、別冊子「2027 年度 履修生募集要項（選抜方法2 試験による選抜）」を参照してください。)

3. 募集人員

学位プログラム名	募集人員
博士課程教育リーディングプログラム 「システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラム」	10 名程度

4. 出願資格

博士前期課程1年次に在籍し、願書提出年度内に戦略的システム思考力演習2の単位取得見込みであって、本選考に合格した場合、本プログラムの履修を確約できる者。

ただし、2026 年度に本プログラムを実施している研究科以外の学生は、事前に相談してください。 現時点で、2026 年度実施研究科は下記の通りです。

- | | | |
|--------------|----------------|---------|
| ・現代システム科学研究科 | ・文学研究科 | ・法学研究科 |
| ・経済学研究科 | ・理学研究科 | ・工学研究科 |
| ・農学研究科 | ・リハビリテーション学研究科 | |
| ・生活科学研究科 | ・経営学研究科 | ・情報学研究科 |

5. 出願書類

出願書類等	作成方法等
履修志願書	6. 出願書類受付 に記載のサイトより必要事項を入力して出願のこと。 ※紙の書類提出は不要です。フォーム入力で完了します。

【注意事項】

(1) 履修志願書は、日本語もしくは英語のいずれかで記入してください。

記入項目ならびに提出ファイルは以下の通りです。

1. 学籍番号
2. 所属キャンパス
3. 研究科・専攻
4. 研究指導教員名
5. 写真の電子ファイル(上半身無帽 正面向きで 3 か月以内に撮影したもの(JPEG、PNG 等の画像データ、4cm×3cm))
6. プログラムへの応募理由書(300字程度、MS Word もしくは PDF)

(2) 入力内容に不備のあるものは受理できないことがあります。

(3) 出願手続後は内容の変更は認めません。

(4) 記載事項が事実と相違している事が明らかとなった場合には、本プログラムの履修許可を取り消す場合があります。

(5) 出願にともなう個人情報は、選考目的以外には使用しませんが、履修生の成績等は、本プログラムにおける学修指導に利用する場合があります。

(6) 選考に係る検定料は無料です。

6. 出願書類受付

- (1) 出願期間 2026 年 12 月 1 日 (火)～12 月 7 日 (月)
(2) 出願サイト URL: <https://forms.office.com/r/DBEQCZBVmr>

7. 選考方法

戦略的システム思考力演習2の履修成績による。

8. 合格発表

- (1) 発表日時 2026 年 12 月 25 日 (金) 13 時～15 時
(2) 発表場所 合格者受験番号の一覧を本プログラムホームページ
(<https://www.omu.ac.jp/las/sims/>)に掲載します。
※ 電話等による合格・不合格の照会には一切応じません。

9. プログラム履修に関する各種手続および説明会

- (1) 日 時 2027 年 2 月 15 日 (月) 15 時 (※およそ 1 時間程度)
(2) 集合場所 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A6 棟 3 階 329 室
高度人材育成推進センター 大会議室
(3) 内 容 採用手続、およびカリキュラム等に関する説明
・ 合格通知書の交付
・ 宣誓書等の記入、提出
・ オリエンテーション 案内
・ 履修の手引き及び時間割等の配付、ならびに履修に関する説明、他

10. プログラム履修開始時期、履修資格

- (1) 履修開始時期 2027 年 4 月 1 日 (木)
(2) 履修資格 本選考に合格した者であって、かつ 2027 年 4 月 1 日時点で大阪公立大学大学院に在学する者。

11. 問い合わせ先

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1
大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A6 棟 3 階 312 室
国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター
TEL: 072-254-7567 (ダイヤルイン)
E-mail: gr-idec-sims@omu.ac.jp
URL: <https://www.omu.ac.jp/las/sims>

【別表 1】 UNM における MSPM、MSCBA 標準履修表（2026 年度）

The Master of Science in Project Management (MSPM)

Requirement	Code No.	Subject title	Credits
Core MSPM Coursework (24 credits)	MGMT 506	Managing People in Organizations	3
	MGMT 515	Innovative Product Development	3
	MGMT 517	Technology Program Management	3
	MGMT 519	Project in Technology Commercialization	3
	MGMT 526	Financial Decision Making	3
	MGMT 529	Fundamentals of Project Management	3
	MGMT 530	Advanced Project Management Techniques	3
	MGMT 533	Analysis Tools for Managers	3
Elective Credit Hours (6 credits)	MGMT 502	Financial Accounting and Analysis	3
	MGMT 511	Technology Commercialization and the Global Environment	3
	MGMT 520	Operations Design and Decision Making	3
Number of credits required for completion	30		

The Master of Science in Cybersecurity & Business Analytics (MSCBA)

Requirement		Code	Subject title	Credits
Required Core Group (15 credits)		MGMT 501	Data Driven Decision Making	3
		MGMT 529	Fundamentals of Project Management	3
		MGMT 635	Data Analytics	3
		MGMT 636	Information Systems Security	3
		MGMT 637	Database Management Systems	3
Management Group (6 credits)		MGMT 502	Financial Accounting and Analysis	3
		MGMT 506	Managing People in Organizations	3
		MGMT 508	Business and Society	3
		MGMT 520	Operations Design and Decision Making	3
		MGMT 522	Managerial Marketing	3
		MGMT 526	Financial Decision Making	3
Technical Group (Select a Track)	Business Analytics Track (12 credits)	MGMT 533	Analysis Tools for Managers	3
		MGMT 588	Supply Chain Models and Strategy	3
		MGMT 645	Data Mining	3
		MGMT 660	Natural Language Processing for Business	3
	Cybersecurity Track (12 credits)	MGMT 646	Digital Forensics	3
		MGMT 647	Systems and Network Administration	3
		MGMT 648	Advanced IS Security	3
		MGMT 662	Security Risk Management	3
Number of credits required for completion		33		

【ダブルディグリー・カリキュラムに関する注意事項】

- ・MSPM、MSCBA 履修に関して、別途授業料等（自己負担）が必要です。
- ・MSPM、MSCBA 受講には、別途 UNM の入学試験があります。
- ・学位取得、留学に関する費用については、各種支援制度を利用することが可能です。
- ・留学に関しては、別途必要書類の提出を求めることがあります。